

新公立病院改革プランの点検・評価の概要
(令和元年度実績)

団 体 名	外ヶ浜町							
プ ラ ン の 名 称	外ヶ浜町病院事業新改革プラン							
策 定 日	平成 29 年		3 月		31 日			
対 象 期 間	平成 29 年度		～		令和 2 年度			
病院の現状	病 院 名	外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院			現在の経営形態		公営企業法財務適用	
	所 在 地	青森県東津軽郡外ヶ浜町字下蟹田42番地1						
	令和元年度当初の許可病床数 (平成31年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
令和元年度中の許可病床数の変更状況 (平成・令和〇年〇月〇日変更)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
(1) 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	【プラン】 当院は蓬田村以北の2町1村を診療圏域とする地域唯一の二次救急医療の維持・確立を担う救急告示病院、さら、へき地医療病院として欠かせない医療施設となっている。更なる地域医療の充実に向け、地域医療構想の柱である「病床の機能分化・連携の推進」に努めていく。 【令和元年度実績等】 青森地域医療圏内の中核病院である青森県立中央病院及び青森市民病院との病床機能分化及び医療連携等は以前より構築されている。地域医療構想の実現に向け、令和元年度においては前年度に引き続き、今後の病院の在り方として一般病床から地域包括ケア病床への転換や病床数の適正化等について検討を行った。							
	【プラン】 病院の機能再編及び関係機関との連携を強化しながら在宅医療の各機能である退院支援、急変時の対応、看取り等の充実を図る。 【令和元年度】 増加する在宅医療の充実に向け、当院の医療連携相談室が中心となり、町担当課及び診療圏域内の各福祉施設等と定期的に「連携会議」を開催する等、情報の共有や連携強化を図った。今後も在宅医療の需要増加が見込まれることから、地域包括ケア病床の早期開設や関係部署等との更なる連携強化に努めていく。							
	③ 一般会計負担の考え方 総務省操出基準に基づき一般会計から繰り入れているが、患者数の減少等により、不採算地区病院運営費に対する繰入れが年々増加している。令和元年度の基準外繰入れのうち、収益的収支分については併設する老人保健施設運営費に対する繰入れを行い、資本的収支分については、建設改良費に充てる助成金が一般会計を通じて交付されたことから、当該助成金相当分を基準外繰入として処理した。							
	④ 医療機能等指標に係る数値目標 上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度							
1) 医療機能・医療品質に係るもの								
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
超音波検査数				730	730	730	730	
	503	572	634	456	454	545		
胃内視鏡検査数				650	650	650	650	
	590	572	539	539	487	534		
CT検査数(入院)				700	700	700	700	
	755	751	694	505	498	521		
CT検査数(外来)				1,200	1,200	1,200	1,200	
	1,028	1,214	1,216	1,085	951	1,236		
救急搬送者数				269	269	269	269	
	309	307	295	275	246	245		
リハビリ収益(入院)				13,456	13,456	13,456	13,456	
	13,393	13,520	4,673	11,381	12,913	13,357		
リハビリ収益(外来)				1,657	1,657	1,657	1,657	
	1,454	1,861	286	239	505	227		
⑤ 住民の理解のための取組 【プラン】 地域に身近な病院として、その運営等については当面、現行を維持することとしているが、社会情勢とともに病院運営の在り方については弾力的に対処することとしている。また、町広報誌の病院専用ページを通じ、最新情報や健康アドバイス等を提供しているほか、院内に「ご意見投書箱」を設置し、幅広く病院利用者の意見を聴取し、病院運営に反映させている。 【令和元年度】 令和元年度においても町広報誌での情報提供や「ご意見投書箱」の設置は継続しており、引き続き、開かれた病院運営等に努めていく。								

① 経営指標に係る数値目標		上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度							
1) 収支改善に係るもの		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
経常損益の額		▲ 2,861	19,641	21,775	1,590 21,105	1,243 23,092	1,166 16,379	5,329	
					1327.4%	1857.8%	1404.7%	0.0%	
経常収支比率		99.8	101.7	102.0	100.1 101.9	100.1 102.2	100.1 101.5	100.5	
					101.8%	102.1%	101.4%	0.0%	
医業収支比率		83.8	82.4	81.6	81.1 78.8	80.8 73.1	78.6 72.9	78.3	
					97.2%	90.5%	92.7%	0.0%	
累積欠損金		▲ 10,296	▲ 29,937	▲ 51,712	▲ 32,985 ▲ 72,835	▲ 34,228 ▲ 95,929	▲ 35,394 ▲ 103,330	▲ 40,723	
					220.8%	280.3%	291.9%	0.0%	
2) 経費削減に係るもの		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
材料費対医業収益比率		22.8	21.0	18.4	21.5 18.4	21.6 17.8	21.7 18.0	21.7	
					85.6%	82.4%	82.9%	0.0%	
薬品費対医業収益比率		14.3	13.6	11.1	13.9 11.1	13.9 11.0	14.0 10.7	14.0	
					79.9%	79.1%	76.4%	0.0%	
業務委託費対医業収益比率		11.8	12.3	12.8	12.6 13.9	12.6 15.4	12.7 15.0	12.7	
					110.3%	122.2%	118.1%	0.0%	
3) 収入確保に係るもの		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
1日当たり入院患者数		41.7	43.0	40.8	42.1 40.2	42.0 35.5	41.9 37.5	41.9	
					95.5%	84.5%	89.5%	0.0%	
1日当たり外来患者数		196.8	187.0	177.9	182.9 174.6	182.5 168.6	182.2 160.2	181.8	
					95.5%	92.4%	87.9%	0.0%	
上記のうち附属診療所		40.2	35.0	41.0	40.0 38.1	40.0 36.1	40.0 34.2	40.0	
					95.3%	90.3%	85.5%	0.0%	
病床利用率		83.4	89.6	84.9	87.7 85.6	87.6 80.8	87.4 85.3	87.2	
					97.6%	92.2%	97.6%	0.0%	
患者1人1日当たり診療収入(入院)		24,759	24,009	24,145	24,010 22,685	24,010 23,152	24,010 22,529	24,010	
					94.5%	96.4%	93.8%	0.0%	
患者1人1日当たり診療収入(外来)		5,956	6,016	5,995	6,010 5,715	6,010 5,502	6,010 6,025	6,010	
					95.1%	91.5%	100.2%	0.0%	
上記のうち附属診療所		6,302	6,431	6,485	6,500 6,521	6,500 5,444	6,500 6,290	6,500	
					100.3%	83.8%	96.8%	0.0%	
4) 経営の安定性に係るもの		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
医師数(人)		6	5	6	6 5	6 6	6 6	6	
					83.3%	100.0%	100.0%	0.0%	
看護師数(人)		26	26	26	26 25	26 24	26 25	26	
					96.2%	92.3%	96.2%	0.0%	
薬剤師数(人)		2	2	2	2 2	2 2	2 2	2	
					100.0%	100.0%	2.0%	0.0%	
臨床検査技師数(人)		2	2	2	2 2	2 2	2 2	2	
					100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
診療放射線技師数(人)		2	2	1	2 1	2 2	2 2	2	
					50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
管理栄養士数(人)		1	1	1	1 1	1 1	1 1	1	
					100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
理学療法士数(人)		2	2	1	2 2	2 2	2 2	2	
					100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

② 目標達成に向けた具体的な取組		計画	実績
民間的経営手法の導入	平成14、15年度に民間委譲を検討し折衝を行った経緯があったが、病院の規模・地域性により民間委譲、指定管理制度の導入は馴染まないと考える。当面は現行形態での運営を予定しているが、民間委託の更なる活用など委託業務の見直しを検討することとしている。	令和元年度においては民間的経営手法や指定管理制度の導入及び業務の新たな民間活用には至らなかった。引き続き、業務の見直し等を行い、費用対効果を検証のうえ、必要に応じて民間委託の活用を検討する。	
事業規模・事業形態の見直し	平成27年度中において一般50床から48床へ2床の病床削減を行った。当院は町国保直営の診療施設として、また、二次救急医療を提供する救急告示病院として、その機能を果たしている。また、併設の介護老人保健施設(50床)についても入所はもとより通所リハビリについても地域ニーズは存在している。現在病院、老健とも理学療法士、看護師等一部医療スタッフが不足しているが、当面は医療従事者体制を充実させ現行形態での事業継続を目指すこととなる。	前年度に比し、看護師が1名増員となり、医療従事者の充足が図られた。 今後も患者数の動向や地域医療構想の趣旨に則った病院の在り方を検証し、病院規模の適正化や事業形態の見直しに努めていく。	
経費削減・抑制対策	経費面においては、医療機器の計画的な購入及び保守費用等、薬品費、診療材料費、医事業務等の各種業務委託料等を精査・見直しをし、経費の節減・抑制に努めていく。 人件費については、医師、技師部門、看護師等の必要最小限の人員は確保しつつ、臨時的に任用している職員の雇用及び院内各部門の人員配置の精査を行い、人件費の抑制・圧縮に努めることとする。	医療機器の更新については計画的に行われ、交付金や助成金の活用により、更新投資の自己資金及び今後生じる減価償却費の実質的負担の抑制が図られた。 また、年間約8,000万円の赤字経営となっていた歯科診療については、当院付近に民間歯科診療所が開設されたこと等を踏まえ、平成31年4月から廃止し、非常勤歯科医師1名、歯科衛生士1名及び補助員1名の削減に至った。	
収入増加・確保対策	入院については1日平均41.0人以上(病床利用率87%以上)、外来については歯科及び附属三院診療所含めて181.0人を確保し収入の維持・増加を図っていく。合わせて医療スタッフを充実させるとともに各種検査機器、健康診断システム等の医療機器も整備し診療の質を高めて収入増につなげていくこととする。	入院患者数及び外来患者数ともに目標値に満たなかったことから、今後は収益性の高い病床への転換の検討及び取得可能な施設基準の模索やその体制作りを努めていく。 診療圏域内の福祉施設等への往診業務は継続しており、これまで同様、受託事業収益は確保することができた。	
その他	健診業務を効率化し収入増を図るため健診新システムの導入を検討する。また、当院においては平成24年度にオーダーリングシステムを導入しているが、外来待ち時間及び診療時間の短縮、更なる診療の拡充・効率化を図るため電子カルテの導入を検討する。	診療の拡充・効率化及び患者サービスのための電子カルテ導入にあたっては費用面及び運用面等での環境が整わなかったため、引き続き導入の検討を継続する。	
(3)再編・ネットワーク化に向けた取組	【プラン】 地域医療構想で示された機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編ネットワーク化の必要性についても検討する。 【令和元年度】 地域医療構想の趣旨及び地域医療ニーズ等を踏まえ、今後も病床規模の適正化を図るほか、地域包括ケア病床への転換も模索・検討する。 なお、診療圏域内の機能分化・連携及び再編ネットワーク化の必要性については引き続き検討することとする。		
(4)経営形態の見直し	【新プラン記載内容】 平成14、15年度の民間委譲の検討・折衝の際には一般病床を療養型病床に変更し、病床数を削減して経営の効率化を図るということが検討されたようである。当院は圏域唯一の救急告示病院であり、また、入院患者の病態、平均在院日数の状況からみても回復期の患者が多いものの、急患等も来院することから急性期医療の一翼も担っている医療機関であるといえる。また、立地的にも過疎地域の不採算築病院であり、料金収入のみによる経営の安定化は厳しい状況であることから、民間委譲、指定管理制度の導入は馴染まないと考える。当面は現行形態での運営を予定しているが、病院の独立性を確保するため、前プランに引き続き公営企業法全部適用の可否の検討を継続するものとする。 【令和元年度】 具体的な結論に至らなかったものの、組織体制及び経営状況等を踏まえ、引き続き公営企業法全部適用の可否等について検討する。 また、津軽半島北東部を診療圏域し、第二次救急医療やへき地医療を担う有床自治体病院として、その経営基盤の強化や圏域内の限られた資料資源の有効活用の観点から、隣接町村との広域的運用の可否について検討を始めることとする。		
総合評価	急激な過疎化の進行等により、患者数が減少し、各個別項目の殆どで目標数値に及ばなかったことが要因で収支ギャップが拡大し、多額の財源不足が生じたが、一般会計からの繰入金増額により、辛うじて純利益を確保することができた。 今後も患者数の増加は見込めない状況であることから、収益性の高い病床への転換、各種検査の充実、取得可能な施設基準の模索、適正な労務管理を維持した上での職員数の見直し等を行い、経営の健全化に努めるとともに、地域の中核病院として外ヶ浜中央病院に課せられた役割や責務を着実に果たしていきたい。		
その他特記事項	現状建物のままでは関係法令に抵触する恐れがあるほか、老朽化が著しく維持管理費が高止まりしていること等を踏まえ、今後の病院整備の在り方について検討に入った。		

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：千円、％）

区分		年度				R1年度 (計画A)	R1年度 (実績B)	R1年度 (差B-A)	R2年度 (計画)
		H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)				
収 入	1. 医 業 収 益 a	741,165	706,526	664,012	616,036	721,372	621,972	▲ 99,400	720,347
	(1) 料 金 収 入	651,294	618,272	576,475	531,376	633,287	541,069	▲ 92,218	632,703
	(2) そ の 他	89,871	88,254	87,537	84,660	88,085	80,903	▲ 7,182	87,644
	うち他会計負担金	48,693	48,143	47,452	45,332	49,111	44,502	▲ 4,609	48,356
	2. 医 業 外 収 益	421,304	427,929	445,938	479,892	452,667	474,850	22,183	460,828
	(1) 他会計負担金・補助金	175,497	191,124	248,281	276,000	202,737	252,500	49,763	193,484
	(2) 国（県）補助金	3,434	3,369	3,542	3,512	3,400	3,533	133	3,400
	(3) 長期前受金戻入	30,993	32,579	27,493	25,860	31,608	28,936	▲ 2,672	31,291
	(4) そ の 他	211,380	200,857	166,622	174,520	214,922	189,881	▲ 25,041	232,653
	経 常 収 益 (A)	1,162,469	1,134,455	1,109,950	1,095,928	1,174,039	1,096,822	▲ 77,217	1,181,175
支 出	1. 医 業 費 用 b	899,121	866,006	842,281	842,781	917,295	853,022	▲ 64,273	919,423
	(1) 職 員 給 与 費 c	536,645	540,582	538,060	543,467	547,457	555,613	8,156	550,194
	(2) 材 料 費	155,720	129,947	122,036	108,832	156,342	111,680	▲ 44,662	156,498
	(3) 経 費	141,384	136,576	126,213	131,419	142,516	125,917	▲ 16,599	142,658
	(4) 減 価 償 却 費	63,366	57,071	51,803	50,261	68,934	56,960	▲ 11,974	68,017
	(5) そ の 他	2,006	1,830	4,169	8,802	2,046	2,852	806	2,056
	2. 医 業 外 費 用	243,707	246,674	246,564	230,055	255,578	227,421	▲ 28,157	256,423
	(1) 支 払 利 息	4,874	5,797	5,167	4,537	4,800	3,919	▲ 881	4,800
	(2) そ の 他	238,833	240,877	241,397	225,518	250,778	223,502	▲ 27,276	251,623
	経 常 費 用 (B)	1,142,828	1,112,680	1,088,845	1,072,836	1,172,873	1,080,443	▲ 92,430	1,175,846
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	19,641	21,775	21,105	23,092	1,166	16,379	15,213	5,329	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	18	2	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	8,978	8,978	0
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	18	2	0	▲ 8,978	▲ 8,978	0
純 損 益 (C)+(F)	19,641	21,775	21,123	23,094	1,166	7,401	6,235	5,329	
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 29,937	▲ 51,712	▲ 72,835	▲ 95,929	▲ 35,394	▲ 103,330	▲ 67,936	▲ 40,723	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	327,938	343,158	372,326	408,456	280,945	402,272	121,327	280,727
	流 動 負 債 (イ)	109,978	105,281	107,371	109,973	109,682	95,584	▲ 14,098	109,608
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	0	0	0	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.7	102.0	101.9	102.2	100.1	101.5	1.4	100.5	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	82.4	81.6	78.8	73.1	78.6	72.9	▲ 5.7	78.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	72.4	76.5	81.0	88.2	75.9	89.3	13.4	76.4	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	
病 床 利 用 率	89.6	84.9	85.6	80.8	87.4	85.3	▲ 2.1	87.2	

団体名 (病院名)	外ヶ浜町国民健康保 険外ヶ浜中央病院
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (計画A)	R1年度 (実績B)	R1年度 (差B-A)	R2年度 (計画)
収	1. 企業債	37,600	3,900	0	0	7,000	0	▲ 7,000	9,000
	2. 他会計出資金	0	6,269	4,508	6,197	0	8,728	8,728	0
	3. 他会計負担金	20,373	18,839	17,338	13,726	21,129	12,077	▲ 9,052	22,000
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	20,868	0	28,000	28,000	0	28,000	28,000	0
	6. 国(県)補助金	2,700	0	0	40,000	2,700	0	▲ 2,700	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
入	収入計 (a)	81,541	29,008	49,846	87,923	30,829	48,805	17,976	31,000
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-[(b)+(c)] (A)	81,541	29,008	49,846	87,923	30,829	48,805	17,976	31,000
支	1. 建設改良費	64,461	12,895	37,015	80,394	11,000	46,912	35,912	11,000
	2. 企業債償還金	60,943	64,155	56,284	48,957	26,793	46,297	19,504	49,958
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	6,345	0	0	0	6,345	0	▲ 6,345	6,345
出	支出計 (B)	131,749	77,050	93,299	129,351	44,138	93,209	49,071	67,303
	差引不足額 (B)-(A) (C)	50,208	48,042	43,453	41,428	13,309	44,404	31,095	36,303
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	50,208	48,042	43,453	41,428	13,309	44,404	31,095	36,303
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
補 て ん 財 源	計 (D)	50,208	48,042	43,453	41,428	13,309	44,404	31,095	36,303
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (計画A)	R1年度 (実績B)	R1年度 (差B-A)	R2年度 (計画)
収 益 的 収 支	(88,000)	(105,279)	(61,832)	(26,000)	(100,902)	(12,500)	▲ 88,402	(104,840)
	224,190	239,267	295,733	321,332	251,848	297,002	45,154	241,840
資 本 的 収 支	(20,868)	(3,046)	(28,000)	(28,000)	(0)	(28,000)	(28,000)	(0)
	41,241	25,108	49,846	47,923	21,129	48,805	27,676	22,000
合 計	(108,868)	(108,325)	(89,832)	(54,000)	(100,902)	(40,500)	▲ 60,402	(104,840)
	265,431	264,375	345,579	369,255	272,977	345,807	72,830	263,840

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。